

第6回
東大和市社会教育委員会議 会議録

令和6年10月15日（火）

令和6年度第6回東大和市社会教育委員会議のまとめ

- 1 日 時： 令和6年10月15日（火）午前10時～11時40分
- 2 場 所： 中央図書館 視聴覚室
- 3 出席委員： 池田陽子、才郷正次、杉本誠一、森脇千春、半田道夫、
鈴木進也（6人）
欠席委員： 外池武嗣、橋本智保子、和田孝（3人）
- 4 事務局： 岩野生涯学習課長、伊藤中央公民館長、浴中央図書館長
小泉生涯学習係長、荻沢主事、岩淵主事（6人）
- 5 内 容： 議題（1）令和5年度社会教育関係課決算報告について

議題（2）研究テーマの検討

議題（3）その他
- 6 公開・非公開： 公開
- 7 傍聴者数： 0人
- 8 配布資料：資料1 令和5年度社会教育関係課決算 説明資料

9 議事内容

(1) 令和5年度社会教育関係課決算報告について

事務局より令和5年度の決算について、以下のとおり説明した。

- ・生涯学習課長

教育部長が欠席のため、生涯学習課長より、令和5年度における、東大和市決算の概要及び社会教育関係課決算の概要を説明した。

- ・生涯学習課長

令和5年度における、生涯学習課決算について、具体的に説明した。

- ・中央公民館長

令和5年度における、中央公民館決算について、具体的に説明した。

- ・中央図書館長

令和5年度における、中央図書館決算について、具体的に説明した。

決算の説明後、以下のとおり質疑応答があった。

- ・委員

図書館の公共施設における受け取りサービスの時間は何時までか。また、どのくらいの成果があるか。

- ・中央図書館長

それぞれの施設の正規職員がいる時間になっている。今まで、移動図書館や中央図書館を利用していた方など、1年間5か所で672名の方が、1417冊の本を借りた。

- ・委員

市民プールの残留塩素濃度の計測について、今までどうやっていたのか、そしてこれからどうしていくのか、具体的に教えてほしい。

- ・生涯学習課長

令和5年度までは、指定管理側の職員がプールの水を掬って、目視で確認していた。令和6年度からは、機械で残留塩素濃度を測ることができるようにした。

- ・委員

中央図書館の工事の時期は決まっているのか。

- ・中央図書館長

まだ工事業者が決まっていない。概ね、2月か3月に工事に入ることができればよいと考えている。

- ・委員

繰越明許費はないか。

- ・生涯学習課長

令和５年度については、実施設計委託等全て完了したため、令和６年度に持ち越しはない。

- ・委員

中央公民館の折機は予約制か。また、料金は無料か。

- ・中央公民館長

予約制ではあるが、飛び込みでも、空いていれば利用できる。料金は無料である。

- ・委員

折機は他の公民館にもあるのか。

- ・中央公民館長

中央公民館と上北台公民館だけである。

(２) 研究テーマの検討

研究テーマについて以下のとおり議論した。

- ・議長

前はコミュニティースクールについての講演を聞いた。今回は、教育とは違う視点の話も出来れば良いと思う。

① 青少年の社会参加

- ・委員

前回の提言と重なる部分も出てきてしまうが、青少年の社会参加についてというテーマも良いと思う。日本の子どもの社会参加への割合が低いというデータもある。親が社会参加をしている子どもは参加率が高いため、親の意識づけも重要ではないか。

② ひきこもり

- ・委員

ひきこもりの人たちの問題もあると思う。ひきこもりの子ども達のコミュニティをどう考えていくか。しかし、プライバシーの問題もあるので、難しい部分もあると思う。

- ・委員

ひきこもりは現状、４０代、５０代の割合が高いため、福祉の分野が

強くなるのではないか。

③ 中間団体

・委員

社会全体と個人との間に位置する中間団体について考えることは良いのではないか。中間団体は、学校などとも紐づいておらず、自発的に活動している団体を言うが、例えばイベントの実行委員会がある。直近では、清原リビングテラスで実施されたビールフェストイベントがあり、子ども～大人が楽しめる企画であった。イベントを行って終わりではなく、若者に引き継いでいく仕組みづくりが課題である。あくまで、地域の活動に参加するきっかけづくりが大切で、いろいろな人が地域参加できる団体があればいいと思う。

・委員

自治会への参加についても、何か面白い仕掛けがあれば集めることができるのではないか。あくまできっかけづくりをし、それが居場所になれば良い。

④ まちづくり

・委員

まちづくりの観点から、市の魅力の向上について考えるのはどうか。スケートボード場や、ストリートピアノ等を設置することで市全体を充実させることができるのではないか。ただし、社会教育というより、都市づくりの分野が強くなってしまおうとも思う。

・事務局

社会教育の観点から、本日出た意見を次回までに委員の皆さんにご検討いただき、何か必要な資料等あれば事務局で用意する。

(3) その他

事務局から2点事務連絡を行った。

・事務局

令和6年度関東甲信越静社会教育研究大会について説明した。

東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について説明した。

- ・ 副議長

本日の会議のまとめを行った。

- ・ 議長

第6回東大和市社会教育委員会議を終了する。次回開催日は、11月19日午前10時から市役所会議等第7・8会議室で開催である。